

第六回 現地活動報告(日程 2011.4.16~17)

株式会社危機管理教育研究所

首記につきまして、皆様の善意の品を下記の通り持参致しましたのでご報告申し上げます。

記

以上

日程	平成 23 年 4 月 15 日(金)~17 日(日)		
1. 実施	危機管理教育研究所、災害救援ボランティア協会(SL) 主な任務は以下の通りです		
	危機管理教育研究所	支援物資の搬送と受け入れ先の実態調査及び被災者のこころのケア活動 (国崎、福田、内藤)	
	災害救援ボランティア協会	支援物資受け入れ先の支援計画策定の為の実態調査 (平田、仁藤)	
2. 行程	今回は、搬送用軽トラック(赤帽物流)1台を手配し、ワンボックスカー(1台)の2台で遂行しました		
	4月15日(金)	21:30 横浜出発	
	4月16日(土)	00:45 東北道 那須高原 SA	休憩および給油
		02:20 東北道 吾妻 PA	休憩
		04:40 東北道 前沢 SA	休憩および給油
08:00 大船渡市福祉の里		支援物資の提供	
12:00 陸前高田市~大船渡市の被災現場視察(災害救援ボランティア協会)			
15:30 大船渡市福祉の里	支援物資仕分けと被災者対応 応援メッセージの上映		
17:30 大船渡市役所	三浦課長との支援物資管理に関する打合せ 災害救援ボランティア協会の支援内容打合せ		
19:30 大船渡市公民館	大船渡消防署および駐留ボランティアとの情報交換		
23:00 同上	就寝		
4月17日(日)	A チーム(災害救援ボランティア協会)		
	08:30 大船渡小学校	管理者(神奈川県相模原市職員)と情報交換および実態調査	
	10:30 立根小学校	管理者(鹿児島県大角町職員)と情報交換および実態調査	
	11:00 日頃市小学校	管理者(山口県宇部市職員)と情報交換および実態調査	
	B チーム		
09:00 モビリア	被災者および職員のこころのケア活動 大船渡消防署(千葉消防士長)同行		
10:40 日頃市小学校	管理者(山口県宇部市職員)と情報交換および実態調査		
帰路	11:00 同上出発		
	13:40 東北道前沢 SA	休憩および給油	
	17:00 東北道那須高原 PA	休憩	
	18:20 東北道羽生 PA	休憩	
	20:00 品川駅前	解散	
3. 支援品	ランドセル、文具、弁口箱、靴、長靴、鞆、書籍、辞書、参考書、おもちゃ他		
4. 概況	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援物資の提供では、「余っている」と聞いていたランドセルに、被災者が群がって喜ばれる等、統計上の数値と実態の差を確認しました <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体は新一年生の人数でランドセルの必要数を推計しますが、被災者の父母は来年度入学者のことも考慮することがギャップの原因と思われる ・ 被災者の物資要求フェーズが第二段階になっており、個人的嗜好を満足する物資を欲している姿を目にしましたが、嗜好品を見る際の被災者は楽しそうで、こころのケアの面でも効果が期待できます。 ● 今回は、支援物資の管理ノウハウを有する災害救援ボランティア協会(SL)に参加いただき、大船渡市内に5箇所ある支援物資受入所を可能な限り訪問して、物資の実態および管理者の窮状等の調査を行って支援方法の検討を行いました 		

- ・ 訪問した受け入れ所では、何処も他県の自治体職員が運営代行で大船渡市職員の支援を行っていました
 - ・ 唯、外部自治体からの応援の為、担当者は約 1 週間単位で交代しており、受け入れ、仕分けから出荷作業の業務品質の継続と向上が困難であり受け入れ場所によるバラツキも見られました
 - ・ 担当職員は、未経験の職務に関わらず問題意識を持って業務改善に当たっており、SL 職員のアドバイスに熱心に質問される姿が印象的でした。
 - ・ 又、支援物資を送る側から、今回受け取る側の立場を経験された職員は、支援物資を送る際のルール化や優先順位、事前仕分け等の課題を認識されたことで貴重な経験になったとのこと
 - ・ 隣接自治体での供給協定や支援物資受付のマニュアル化等貴重な意見が提起されました
- ※調査結果を踏まえて、次回 SL 様より大船渡市に対して支援物資管理方法の改善と人的支援に関する提案をいただく予定です。
- 被災した自治体の職員・消防職員や避難所運営者など、被災者でありながらも被災者の支援をしている関係者の肉体的精神的疲労は濃く、心のケアが早急に必要であると感じました
 - ・ 職員向けのカウンセリング対応があれども業務多用の時間のない中でカウンセリングを受ける職員も少なく次第に追いつめられていく状況にあります。市役所の方や消防署隊員の方とお話をする中で口に出せない思いを抱えていることが、大変気になりました。
 - ・ 次回の活動では職員の人向けの傾聴やマッサージを優先して実施したいと思います。

5. 参考

バザー形式で並べた支援物資



何色のランドセルが良いか楽しみながら探す被災者



子供用品のお弁当箱や水筒に喜ぶ被災者



本当に嬉しい！そんな言葉がたくさんありました



被災者への応援ビデオ上映



公民館での現地ボランティアとの交流



大船渡小学校の調査風景



整然と管理された大船渡小学校の支援物資



立根小学校の調査風景



仕分け途上の支援物資



日頃市小学校の調査風景



仕分け前の支援物資



以上